

# 看護師の魅力

## 紹介します！

患者の健康と笑顔を守る  
現役看護師に  
直撃インタビュー。  
看護師という仕事の  
やりがいや魅力を本音で  
語っていただきました。



かゆいところに  
手が届く  
働き者の中堅ナース

Profile

看護師歴6年  
市立大津市民病院  
7B病棟  
角井 里奈さん

22歳

滋賀県立大学人間看護学部人間看護学科で看護師・保健師資格を取得。

22歳

大津市民病院へ就職。循環器内科・心臓血管外科・呼吸器外科・内科の混合病棟で勤務。

28歳

同院同病棟にて、2度目の新人プリセプター<sup>※1</sup>を担当。

※1 新人看護師の指導役として、マンツーマンで新人看護師に対し、看護技術を指導する役割のこと

ある日のお仕事

08:30  
始業

08:45  
申し送り・カンファレンス

9:00

朝の保清ケア

10:00

検温・処置

12:00

食事介助

13:00

休憩

14:00

処置・記録

17:15

申し送り・終業



車いすで患者さんと院内を散歩

血圧測定

デスクワーク



同僚と密にコミュニケーション

点滴の準備

### 忙しい急性期病棟だからこそ味わえるやりがい

主に循環器・呼吸器を担当する一般病棟で看護師として働く角井さん。心不全増悪で入院を繰り返す患者さんの療養支援・在宅療養について考えたり、心臓や肺の術後患者へ看護を提供したりしています。急性期病棟ゆえ、処置や手術などが重なるため忙しくなりますが、治療を乗り越えて元気に退院していく患者さんを一番近くで見守ることができる、大きなやりがいのあるポジションです。中堅の域に差し掛かってきた角井さんは今年度、プリセプターとして新人教育も担当。新人が成長できるよう指導ペースや業務量を調整したり、悩みや困りごとの相談に乗ったりしています。新人が各々のペースで成長し、他メンバーと協働できるようになってきた姿を見るのが、角井さんの密かな楽しみになっています。

### オフの過ごし方

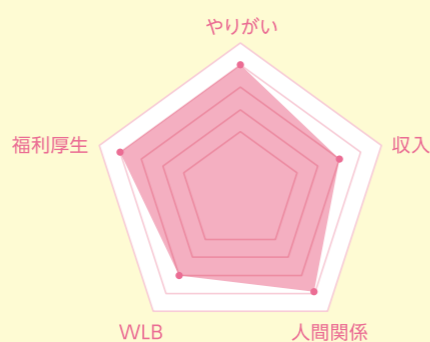


SNSで美味しそうな店を検索し、心も胃も癒やされます！



職場の仲間と好きな音楽を共有。飛び跳ねて、元気をもらって、また仕事をがんばる活力にしています！

### 職場満足度 ※個人の主観による採点



### 上司の声

とっても働き者さんで、かゆいところまで手が届くナースです。しっかりとした看護観を持っていて、新人看護師にとって頼もしい先輩です。自分だけでなく、周囲のスタッフとともに成長できる人材です。  
(師長・加藤 明美さん)

### やってよかった！ 胸熱エピソード

入院中にせん妄<sup>※2</sup>で落ち着きがなくなった患者さんに対し、根気強く説明を繰り返したところ、心身が落ち着いたところに「あなただから安心できた」と手を握ってくれたことが深く印象に残っています。  
※2 身体的な要因や薬物の影響等で、一時的な意識障害や注力の低下が起ることで

### Q 同職をめざす人にメッセージをお願いします！

A 看護師資格で働ける環境は多種多様で、病院や病棟によってカラーもあります。自分の進みたい道や働きたい環境を決めるのは大変なことです。みなさんが自分らしく働ける環境はきっと見つかります。当院にぴったりの人といつか一緒に働ける日を楽しみにしています。

### Q 仕事をするうえで心掛けていることは？

A 患者さんやそのご家族の立場をイメージしながら、自分の看護を見つめるように心掛けています。「こんな時、自分ならこうして欲しい」「ここをもっと詳しく教えて欲しい」など、患者さんやご家族目線だごどのような関わりや声掛けがあるとうれしいかを考え、先回りして看護を行っています。

### Q 現在の仕事内容を教えてください

A 地域に根ざした急性期病院の一般病棟で働いています。また、中堅看護師として新人看護師さんのプリセプター<sup>※1</sup>を担い、教育・指導も行っていきます。

### Q 現職を選んだきっかけは？

A 自分の将来や進路に向き合ったときに、資格職に興味を持ちました。自分に向いている仕事の方向性を考えた結果、「人と関わる仕事をしたい」と思い、看護師を選びました。

### 教えて！インタビュー

# 確実性で命を救う ドクターヘリ搭乗看護師

※1 救急医療に精通した医師・看護師をいち早く現場に連れていくヘリコプターの「パイロット」のよう。早い初期治療が救命率向上・後遺症軽減につながる。



**Profile**  
 看護師歴19年  
 済生会滋賀県病院  
 救命救急センター  
**林 薫さん**  
 大津市民病院付属看護専門学校で看護師資格を取得。卒業後、彦根市立病院・整形外科病棟に勤務。  
 22歳 救急看護認定看護師の資格を取得。  
 33歳 済生会滋賀県病院に転職。救急外来に配属。  
 37歳

ある日のお仕事

07:30	始業
07:45	
	ヘリ内の物品点検
08:20	ブリーフィング <sup>※4</sup>
08:30	救命救急センターで業務（ヘリ要請があれば出動）
12:00	休憩
12:45	救命救急センターで業務
日没30分前	デブリーフィング <sup>※5</sup> 終業



ドクターヘリで現場から帰還中

出動時以外は救命救急センターで勤務

ヘリ内の物品点検

出動要請を受けて準備を整えヘリポートへ

救命救急センター内での看護

## 常日頃からの心構えと確実な準備が、救える命を救う

緊急出動要請を受けて、素早く準備を整え、ドクターヘリで現場へ駆けつける。まさに医療ドラマのワンシーンのようですが、現実で必要とされるのはドラマ性ではなく、確実に患者さんを救うこと。そのため、林さんはどんなタイミングでの出動要請にも慌てず、靴ひとつ針1本の忘れ物もないように気を配って現場へ向かう姿勢を大切にしています。日没間際の現場到着になると、医療班を現場に残して先にヘリだけ帰還してしまい、処置後は自力で帰らなければならないことも。また、救命救急チームゆえ患者さんの病気が良くなっていく過程も見られません。それでも林さんは、救える命を確実に救うという自分の仕事に誇りを持ち、今日も万全の準備を整えてヘリポートへ駆けつけます。

※4 業務開始前に行う、天候や運航時間、当日の運航に関わる事項、機内の搭載物、機器の作動等の確認のための「ミーティング」のこと  
 ※5 ドクターヘリの当日のフライトでの報告、反省点や改善点の確認等を行う「振り返り」のこと

## 教えて！インタビュー

Q 現職を選んだきっかけは？

A 「防げる急変を防ぎたい」という思いから、救急看護認定看護師を志しました。急変を防ぐためには患者さんの変化に気付くスピードが大切です。いち早く患者さんのもとへ駆けつけたいという思いで、ドクターヘリやドクターカーを有する済生会滋賀県病院への転職を決意しました。  
※2 処置・検査ができる資格を持ち、医師・看護師をいち早く救急現場に連れていく専用の車の「パイロット」のよう。早い初期治療が救命率向上・後遺症軽減につながる。

Q 現在の仕事内容を教えてください

A 救命救急センターで活動する傍ら、ドクターカーやドクターヘリにも常務しています。ドクターヘリ出動の要請があると、すぐに準備を整えてヘリポートへ駆けつけ、ランデブーポイントへ向かい、処置を行います。  
※3 救急とドクターヘリが共通する離着陸場のこと

Q 仕事をやるうえで心掛けていることは？

A 当院のドクターヘリは滋賀県全域だけでなく、京都府と福井県の一部もカバーしています。行き先はヘリポートに到着してから知らされます。遠方の場合はなおさらスピードが肝要なので、忘れ物をしないように慌てず、しかし迅速に準備を整えます。

Q 同職をめざす人にメッセージをお願いします！

A 1分1秒を争う大変な仕事ですが、あと1分医療介入が遅かったら助からなかった命を救えたときに感じるやりがいと達成感は格別です。ぜひ、ドクターヘリの仕事に興味を持ってください。

## やってよかった！ 胸熱エピソード

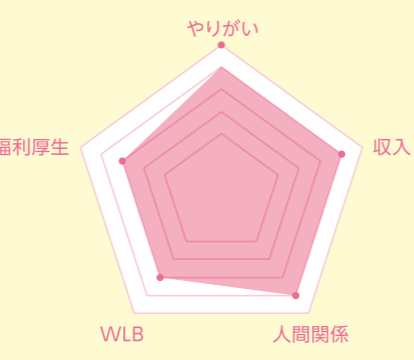
ドクターヘリの出動で、たまたま前勤務先である彦根市立病院の中に入る機会があり、転職時に「ヘリで帰ってきてな」と約束していた元同僚と再会。懐かしさとうれしさがありません。

## オフの過ごし方



冬は薪ストーブで暖を取ります。年間3トンもの薪を使用するので、休日は聴診器を斧に握り替え、薪作りに動きます。  
 「救急の運動会」といわれるメディカルラリーにたびたび参加し、救急医療の知識や技術に磨きをかけています。

## 職場満足度 ※個人の主観による採点



## 上司の声

救急看護認定看護師のライセンスを有する林看護師は、看護実践スキルが高いことはもちろん、仕事に対する姿勢はとても真面目で、患者様への対応も丁寧です。コミュニケーション能力が高く、医師をはじめ他職種からの評判もよく、連携や関係構築を円滑に行ってくれています。(小池 竜介さん)



食事介助



デスクワーク



薬品チェック



病棟スタッフとのコミュニケーション



患者さんとも親密にコミュニケーション

ある日のお仕事

08:30

始業  
朝礼  
申し送り

09:00

患者の  
健康観察

11:00

昼食前準備

12:00

患者への  
昼食配膳・  
配薬

14:00

ケア  
カンファレンス

16:00

オムツ交換  
更衣

17:15

終業

高いマルチタスク処理能力とコミュニケーション力を発揮

「回復期リハビリテーション認定看護師」は、患者さんやその家族に質の高い看護を提供するほか、病棟における個人・集団・組織に対するリスクマネジメントや、多職種との協働とチームアプローチの実践などが求められます。専門知識や技術はもちろん、組織を円滑に動かすための高いコミュニケーション力も欠かせません。病棟の副師長を兼ねる高橋さんは、師長補佐業務、病棟スタッフの相談対応、勉強会の開催など幅広い業務に従事しつつ、患者さんに対しても真摯に向き合います。患者さんの意思に寄り添った看護の実践のため、困難にぶつかった場合でも、スタッフ間で知恵を出し合い、何が最良なのかを考え、最後まで諦めない姿勢を見せています。

オフの過ごし方

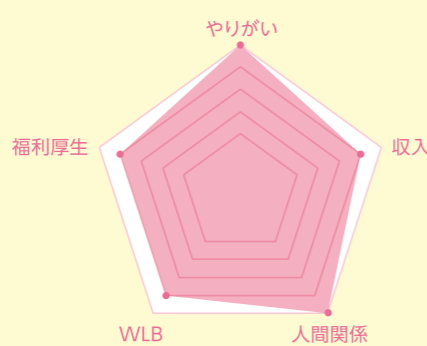


好きなアーティストのためなら全国どこへでも！写真は友人と広島に行ったときのもの。



ライブがなくても全国のいろいろなところへ旅行へ行きます。写真は仲良しの友人と東京観光に行ったときのもの。

職場満足度 ※個人の主観による採点



上司の声

回リハ認定看護師として日々活躍し、積極的に後輩育成にも関わっておられます。病棟では副師長としてリーダー的存在で、真面目な勤務態度もあってスタッフから厚い信頼を寄せられています。今後の病棟運営を安心して任せられる存在です。(岸本 貴志子さん)



思いに寄り添いチームをまとめる  
回復期リハビリテーション認定看護師

Profile

看護師歴16年  
琵琶湖中央リハビリテーション病院  
看護部 2B病棟 副師長  
高橋 佑季さん

22歳

三育学院短期大学看護学科で看護師資格を取得。卒業後、大津赤十字病院小児科に勤務。

25歳

琵琶湖中央病院・療養病棟に転職。

31歳

回復期リハビリテーション病棟に異動。

やってよかった！  
胸熱エピソード



素敵な笑顔で出迎えてくれました！

食事を摂ることが困難な患者様が、当院への入院の後に食べられるように。退院後に会う機会があり、その元気づけような笑顔にホッとした。

- Q 同職をめざす人にメッセージをお願いします！
A 大変なことも少なくありませんが、患者様が笑顔で退院されていく姿を見ると、とてもやりがいを感じます。患者様やその家族に寄り添い、思いをしっかり聞くことができる看護師をめざしてください。
Q 仕事をするうえで心掛けていることは？
A 回復期リハビリテーション認定看護師の業務は、多職種との連携がとても重要なので、日々のコミュニケーションを特に大切にしています。患者様の意思にできるだけ添った看護ができるよう、スタッフ間で同じ目標を立て、達成に向けて取り組んでいます。
Q 現在の仕事内容を教えてください
A 副師長として、師長の業務のほか、新人・現任看護師への院内教育を担当しています。病棟スタッフの相談に乗ることも多いです。
Q 現職を選んだきっかけは？
A 25歳のときに祖母の病気で死をきっかけに老年看護を学びたいと思うようになり、現病棟の前身である琵琶湖中央病院の療養病棟に転職しました。その後、病棟が2018年に回復期リハビリテーション病棟に転科し、回復期リハビリテーション病棟へ転属となりました。

教えて！インタビュー



利用者宅にて看護



報告書作成



電話で相談受け



訪問中



同僚と情報共有

## ある日のお仕事

08:30

始業

09:30

1件目の訪問

11:00

2件目の訪問

12:30

休憩

13:30

3件目の訪問

15:00

4件目の訪問

16:30

記録・報告

17:15

終業

## 新卒で訪問看護師になる。密な経験が飛躍的な成長につながる

訪問看護師の多くが病院勤務で知識と経験を積んだ後に転身する中、渡邊さんが選んだのは、新卒後すぐに訪問看護師になる道でした。学生時代に同ステーションで実習を積んだとはいえ、1年目の4月から単独訪問をするのは大変なことです。渡邊さんは滋賀県看護協会の「新卒訪問看護師育成プログラム」を活用しつつ、自身では判断がつかないことが出てくるとすぐさま他のスタッフに電話で相談し、解決策を仰ぎます。その経験の積み重ねが、訪問看護師としての渡邊さんを人一倍強くします。やがてさまざまなケースを自分で判断・実施できるようになり、それが目に見える結果として現れると、渡邊さんの中に確かな自信が生まれます。利用者さんと過ごす密な時間が、渡邊さんを大きく成長させてくれるのです。

## ● オフの過ごし方

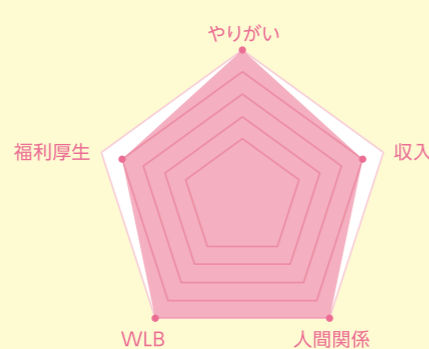


身体を動かすことが好きなので、休日や仕事終わりにジムに通っています。



たまの外食も楽しみの一つですが、家でゆっくり過ごすことが多いです。

## ● 職場満足度 ※個人の主観による採点



## 上司の声

ほめるところがなく、どこに出しても恥ずかしくない存在です。若いのにしっかりしているし、この年齢でここまでできるのは素晴らしい！（芝 佳糸さん）

前例の少ない道を突き進む  
新進気鋭の訪問看護師

## Profile

看護師歴3年  
訪問看護ステーションさと水口

渡邊 莉希さん

21歳

滋賀医科大学医学部  
看護学科で訪問看護  
師育成コースを専攻。

22歳

看護師資格を取得。卒業後、訪問看護ステーションさと水口で勤務。

## 教えて！インタビュー

Q 現職を選んだきっかけは？

A 学生時代、看護師としての働き方を考える中で、目標志向の考えに基づく訪問看護に魅力を感じ、志しました。新卒で訪問看護師になる例が少なかったため不安でしたが、滋賀県看護協会の「新卒訪問看護師育成プログラム」があることを知り、挑戦しました。

※「先輩看護師やアドバイザーの手厚い支援のもと新卒者が訪問看護師として活躍するための育成プログラムのこと」

Q 現在の仕事内容を教えてください

A 1日に数件の利用者訪問を行います。基本的にはすべて単独訪問です。その他、受け持ち利用者様に関する報告書・計画書の作成や、休日・夜間の電話対応をしています。

Q 仕事をするうえで心掛けていることは？

A 訪問看護は利用者様宅にお邪魔させていただく立場であることを自覚し、決められた時間内でスピーディーかつ適切にケアを行っています。また、看護の対象に利用者様のご家族も含まれているという意識を忘れないようにしています。

Q 同職をめざす人にメッセージをお願いします！

A 新卒で訪問看護師を志す方は年々増えています。滋賀県看護協会の手厚いフォローもあり、成長を実感しながら自分のペースで仕事に取り組めます。自分の看護観を大切にしながら、なりたい看護師像をイメージしてがんばってください。応援しています！

やってよかった！  
胸熱エピソード

訪問先で利用者様から「あなたが来てくれたらうれしいわ」看護師さんが来るのを楽しみにしています」という言葉をいただき、あたたかく誇らしい気持ちになりました。

## 現職を選んだきっかけは？

「2025年問題<sup>\*1</sup>」に向けて、国の施策において地域包括ケアシステム<sup>\*2</sup>が動き出している状況下で異動の相談をいただきました。当時は在宅医療や暮らしを支える介護や福祉について多少の知識を持つ程度の身でしたが、さらなるキャリアアップを目指して引き受けました。

## 仕事のやりがい？

ご利用者様から「おうみの看護師さんに訪問に来てもらって良かった」「おうみの看護師さんに相談して良かった。頼りになる」などのお声かけをいただいたときは、スタッフ一同励みになっています。

<sup>\*1</sup> 団塊の世代が後期高齢者(75歳)となり、国民の4人に1人が後期高齢者の超高齢化社会になることに伴う様々な問題のこと  
<sup>\*2</sup> 介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい生活を最後まで続けることができるように地域内で助け合う体制のこと

**Profile**  
 看護師歴28年  
 訪問看護ステーションおうみ  
 所長  
**小野 超郎さん**

23歳  
 准看護師、看護師資格を取得後、八幡青樹会病院(現・滋賀八幡病院)・精神科にて勤務。

38歳  
 人事異動で同院・訪問看護ステーションおうみの所長に就任。

49歳  
 事業所看護師スタッフ6名とともに、東近江圏域の精神科に特化した訪問看護を展開中。



## 現職を選んだきっかけは？

学生時代の実習で、訪問看護師さんが利用者さんの生活にじっくりと寄り添った看護をしている姿を見て、経験を積んだら訪問看護に挑戦してみたいと考えていました。現所長にお誘いいただいたこともあり、訪問看護師に転職しました。

## 仕事のやりがい？

病院勤務と比べてじっくりと利用者様と関われる、それこそ利用者様の人生に携われるところがうれしく、貴重な経験だと感じています。小児訪問看護が中心なので、ご家族と信頼関係を築きながら、子どもの成長と一緒に見られるのもうれしいです。

**Profile**  
 看護師歴6年  
 訪問看護ステーションかたつむり  
**赤堀 里奈さん**

22歳  
 大阪医科大学看護学部で看護師資格を取得。卒業後、大阪医科大学付属病院小児科で勤務。

27歳  
 訪問看護ステーションかたつむりに転職。



施設訪問



施設訪問



デスクワーク

ある日のお仕事

08:30	始業
09:00	訪問業務 管理業務
12:30	休憩
13:30	訪問業務 管理業務
17:15	終業



利用者さんと近所を散歩中



診察



一緒におもちゃ遊び

ある日のお仕事

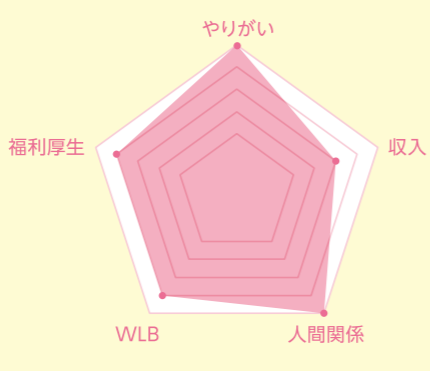
08:30	始業
09:00	1件目の訪問
10:30	事務所で記録 報告書業務
12:00	休憩
14:00	2件目の訪問
15:00	車内で記録 情報収集
16:00	3件目の訪問
17:30	終業

## オフの過ごし方



コロナ禍前は、よく友人たちと親睦を深めることでリフレッシュを図っていました。最近は料理が気分転換になっています。

## 職場満足度 ※個人の主観による採点



## 上司の声

当事業所唯一の男性看護師で、勤続30年、精神科病院一筋のベテランです。訪問看護の所長として、率先して働きやすい職場をつくってくれています。赤ペラで歌う「あの鐘を鳴らすのはあなた」は最高で、いつも職場内を和やかにしてくれます。(訪問事業部副部長・藤井 勝さん)

## オフの過ごし方

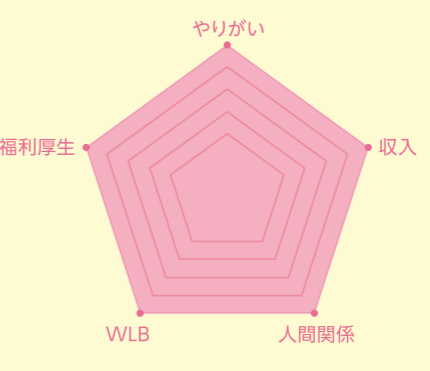


仕事前に愛犬と一緒に、朝日を見ながら田んぼ道を散歩します。とても気持ちよく、今日も一日がんばろう!という気持ちになります。



おしゃれなカフェと甘いものが大好きで、よく友人と京都のカフェを巡ります。甘いものを食べながら友人とたわいもない話をすることが息抜きになっています。

## 職場満足度 ※個人の主観による採点



## 上司の声

立ち上げ当初から入職し、一緒にかたつむりを作ってきました。素敵な笑顔と穏やかな姿勢で利用者様からの信頼も厚く、当ステーション自慢の看護師です。小児科病棟での経験を生かし、あたたかい看護を日々利用者様に提供する姿に、スタッフからの信頼も厚いです。(所長・菅沼 幸子さん)

## 現職を選んだきっかけは？

高校1年生のときに、体の成長が早い人に起こる「思春期側弯症」という症状に陥り、手術を経験しました。その経験から、自分と同じように10代で病気・手術をする人に寄り添いたいと思い、看護師をめざしました。

## 仕事のやりがい？

脊椎疾患の患者さんは、手のしびれなどで日常生活に支障があることが多いため、たとえばフォークの柄にガーゼを巻いて持ちやすくする等の工夫をしています。症状が軽減してスムーズに歩行できるようになった患者さんの喜ぶ顔や感謝の言葉がやりがいです。

### Profile

看護師歴4年  
日野記念病院  
脊椎センター  
杉本 華乃香さん

16歳

「思春期側弯症」で手術を経験。

21歳

滋賀県立看護専門学校卒業後に看護師資格を取得し、日野記念病院脊椎センターに勤務。

24歳

出産・産休・育休で休職。子どもが1歳になってから復職。



## 現職を選んだきっかけは？

病院勤務の経験を、在宅復帰を目標に看護を行う介護老人保健施設(老健施設)で生かしたいと考えました。自宅から近くて長く働けそうだったこともあり、ヴォーリズ老健センターに転職しました。

## 仕事のやりがい？

在宅復帰をめざす利用者が安心して生活できるように、医療ケアやソーシャルワーカーとしての関わりでお手伝いをしています。皮膚の荒れ具合や顔色などをよく観察して、異常の早期発見に努めています。利用者が施設利用を経て在宅復帰を果たしたときにやりがいを感じます。

### Profile

看護師歴26年  
ヴォーリズ老健センター  
一般療養棟  
木本 清美さん

20歳

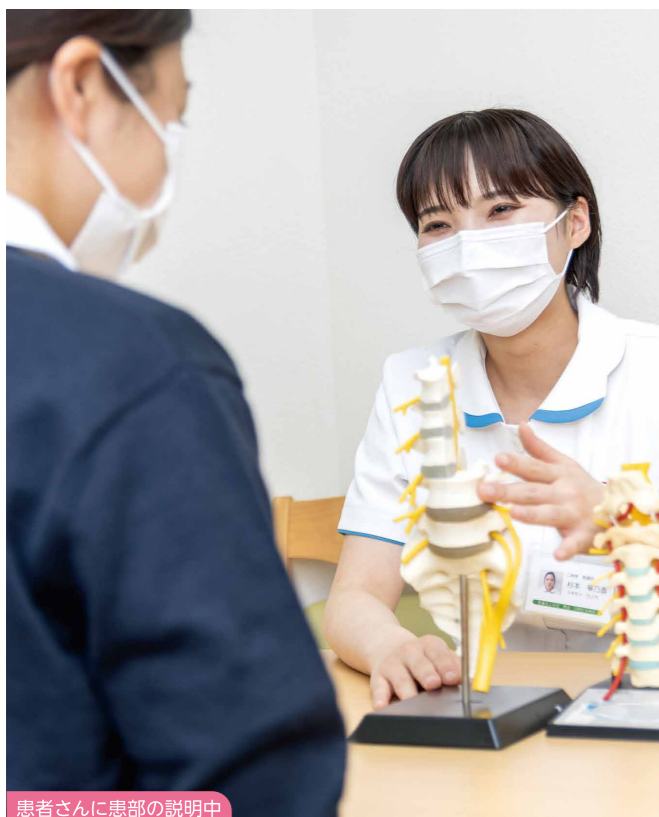
京都桂病院附属看護専門学校(現・京都桂看護学校)で看護師資格を取得。卒業後、京都桂病院で勤務。

37歳

結婚・出産・子育てを経て、八日市看護学校に看護師として勤務。

50歳

ヴォーリズ老健センターに転職。



患者さんに患部の説明中



手術前の患者さんを剃髪



カンファレンス

### ある日のお仕事

09:30	始業
10:00	受け持ち患者さんの状態観察・日常生活支援
11:00	病棟カンファレンス
12:00	休憩
13:00	下膳・配薬
14:00	受け持ち患者さんの処置・術後観察
15:00	カルテ入力
16:00	終業



血圧測定



皮膚薬塗布



記録

### ある日のお仕事

08:30	始業
09:00	処置
09:30	入浴介助
11:30	配膳・配薬
12:00	休憩
13:00	検温
15:00	多職種カンファレンス
17:15	終業

### オフの過ごし方

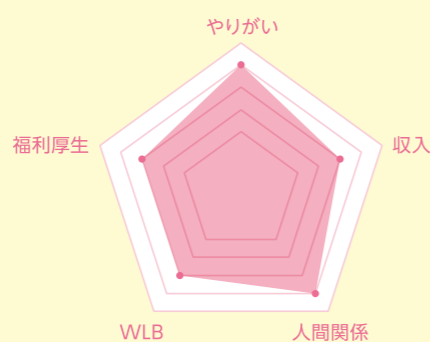


天気の良い日には子どもとおでかけすることが多いです。写真は動物園でアルパカのアイスクリームを食べているところ。



子育て中の今はできていませんが、高校時代から21歳まではダンスのインストラクターをしていました。

### 職場満足度 ※個人の主観による採点



### 先輩の声

毎日患者さんと笑顔で優しく接しているので、先輩である私のほうが多いです。入職当時は悩みもあったと思いますが、今一緒に看護師として働けてとてもうれしいです。一緒に成長していきたいです。(エルダー・寺嶋 文実さん)

### オフの過ごし方

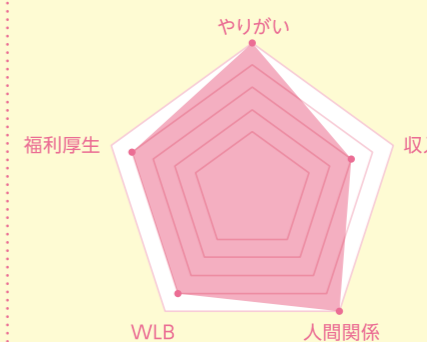


感染予防も兼ねて家でゆっくりしながらネコに癒されています。



先日、娘と一緒に徳島県の大塚国際美術館へ行きました。

### 職場満足度 ※個人の主観による採点



### 上司の声

真面目で落ち着きがあり、しっかりと仕事をこなしてくれます。特に優れているのが観察眼で、まわりをよく見て気づいたことをいろいろと改善してくれるのでとても助かっています。利用者様と穏やかに会話し、安心なケアを提供してくれる頼もしい存在です。(増田 繁美さん)

## 現職を選んだきっかけは？

以前は病院や訪問看護ステーションで働いていましたが、身内の縁でむつみ園に入職しました。それまでに経験したことの無い分野で、障害福祉施設がどんなところか、看護師の自分に何が出来るのか想像もつかず、不安がある中での再就職でした。

## 仕事のやりがい？

ご利用者様の生活の場で、食事や排泄などの支援、散歩や畑作業、創作活動を一緒に行っています。知的障害、ダウン症、精神疾患など一人ひとり個性や関わり方はさまざまありますが、そのピュアな笑顔を見ると癒されて元気をもらえます。

### Profile

看護師歴30年  
社会福祉法人よつば会  
生活介護事業 副主任  
遠藤 千佳さん

21歳

華頂看護専門学校で学びながら、琵琶湖養育院病院に看護学生として就職。看護師資格を取得後、同病院に勤務。

46歳

結婚、出産、子育て、病院勤務、訪問看護ステーション勤務を経て、よつば会に入職。

53歳

よつば会の障害福祉サービス事業所むつみ園で勤務中。



## 現職を選んだきっかけは？

幼いころは体が弱く、また高齢者とは無縁な核家族で育ったため、看護職への就職を考えたことはありませんでした。もともと書道家になりたかったのですが、現実的ではないと考え、タイミングよく友人の誘いに乗る形でこの道を歩み始めました。

## 仕事のやりがい？

誰しにも訪れる病気やけがといった人生の一幕に立ち合い、一緒になって戦い、サポートする素晴らしい仕事です。また救急では、多職種が一つの目標に向かってチームワークを発揮するので、達成できると大きなやりがいを感じます。

### Profile

看護師歴28年  
滋賀県立総合病院  
外来 副看護師長  
寺澤 律子さん

18歳

友人に誘われ、滋賀県立総合保健専門学校へ進学。

21歳

同校で看護師資格を取得。卒業後、滋賀県立成人病センター(現・滋賀県立総合病院)で勤務。

50歳

循環器内科、救急特殊病棟(現・HCU)、神経内科、外来と渡り歩く。



### ある日のお仕事

08:15	始業
08:45	利用者受け入れ ラジオ体操
10:00	バイタルサイン <sup>※1</sup> チェック・爪切り
11:30	昼食対応・服薬
12:00	休憩
13:00	支援者会議
15:30	利用者送り出し
17:15	終業



食事介助



血圧チェック



利用者さんとレクリエーション

※1 生命に関する最も基本的な情報のことであり、「呼吸」「体温」「血圧」「脈拍」の4項目を基本としている

### ある日のお仕事

08:30	始業 業務の引継ぎ・調整
08:50	医師・看護師で ブリーフィング <sup>※1</sup> 救急外来業務
12:00	休憩
13:00	救急外来業務
17:00	業務の引継ぎ・調整
17:15	終業



血圧測定



点滴の準備



同僚と救急処置についての話し合い

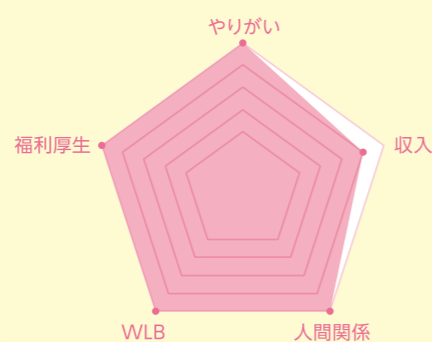
※1 業務開始前に行うミーティングのこと

### オフの過ごし方



娘の趣味の写真撮影に同行したり、おいしいものを食べにいったりと、家族で過ごす時間を大切にしています。

### 職場満足度 ※個人の主観による採点



### 上司の声

遠藤看護師は、看護師1名配置の現場で施設全体の健康管理・保健衛生管理・感染症対策を中心となっておりながら、ご利用者ご家族、関係機関との連携、ご利用者支援において専門職として重要な役割を担っている施設に不可欠な存在です。(由井 雅美さん)

### オフの過ごし方

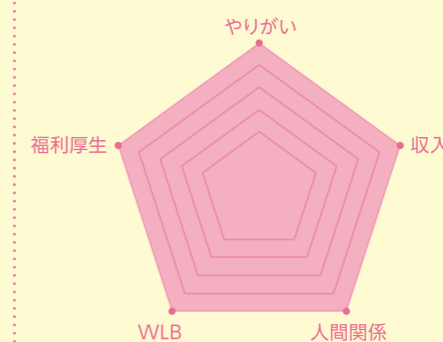


2020年まで仕事をしながら大学院に通ってました。仕事と研究の両立はとて面白いへんでしたが、大学院で出会った苦楽をともにした仲間は一生の宝物です。



ドライブが大好きで、コロナ禍以前は国内をドライブプチ旅行をしていました。写真は高知市のはりまや橋。

### 職場満足度 ※個人の主観による採点



### 後輩の声

いつもスタッフの思いを理解するために、良いことも悪いことも話を聞いて寄り添い、管理者として建設的に介入してくれます。最後はこの人に相談すれば大丈夫という安心感があります。システム構築などを知らない間にスマートに行えるスーパーマンです。(添田 美和さん)

## 現職を選んだきっかけは？

前職場で慢性期看護に携わる中で在宅看護に興味を持ちました。特に小児・障害部門のスキルを磨きたくて、湖北地方で日中一時支援からショートステイまで幅広く支援しているひだまりに転職しました。

## 仕事のやりがいとは？

体調チェック、経管栄養、吸引、呼吸器管理、発作・急変時の医療対応、ショートステイ対応などの医療ケアとともに、利用者様とのレクリエーションにも携わっています。利用者様の笑顔や、ご家族様から「ありがとう、休めました」というお声をいただいたときにやりがいを感じます。

### Profile

看護師歴6年  
社会福祉法人ひだまり  
内田 省吾さん

20歳

鹿児島県の出水中央高校看護学科(5年制)で看護師資格を取得。卒業後、医療法人恒仁会近江温泉病院で勤務。

25歳

社会福祉法人ひだまりに転職



## 現職を選んだきっかけは？

専門学校での授業や実習で精神看護の奥深さに触れたことが最初のきっかけです。また、自分自身が辛いときに友人が励ましてくれたり隣にいてくれたことで気持ちが楽になった経験から、心に寄り添う精神科の看護に興味を持ちました。

## 仕事のやりがいとは？

当院では薬物療法と心理療法とともにECT(電気けいれん療法)にも力を入れていて、専門知識や新しい知識に触れながら看護を行えるところにやりがいを感じます。また、患者さんとじっくり関わるところが、精神看護の魅力だと思います。

### Profile

看護師歴5年  
滋賀里病院  
看護部  
矢部 葉月さん

21歳

大津赤十字看護専門学校で看護師資格を取得。卒業後、大津赤十字病院・消化器内科・血液内科に勤務。

22歳

精神科看護を学ぶため、滋賀里病院へ転職。



### ある日のお仕事

08:30	始業
08:45	送迎
09:30	利用者様の健康観察
10:00	経管栄養・医療処置
12:00	休憩・食事介助
13:00	レクリエーション
15:30	送迎
17:30	終業



レクリエーション



医療ケア



歩行訓練

### ある日のお仕事

08:45	始業
09:00	検温 入浴介助 オムツ交換
10:00	ECT前後の患者さんの観察・ケア
12:00	休憩
13:00	病棟カンファレンス
14:00	退院に向けた多職種カンファレンス
15:00	患者さんと会話や散歩
16:45	終業



患者さんと散歩



カルテチェック



デスクワーク

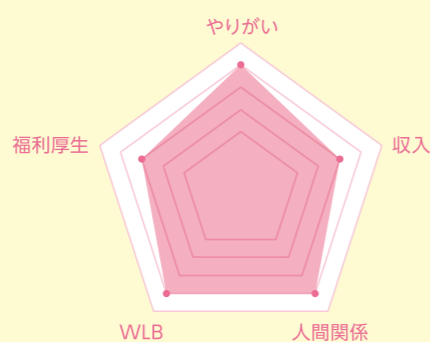
### オフの過ごし方



休日は早起きして友人とサーフィンをしています。海から見る景色はとてもきれいで、良い波に乗れたときはとても気持ちよく、ストレス発散できます。

冬は雪山でスノーボードを楽しんでいます。滑り降りるときの爽快感や、友人とゲレンデで食べる食事は最高です。

### 職場満足度 ※個人の主観による採点



### 管理者の声

年齢よりも落ち着いた雰囲気を持っていて、利用者様からの信頼も厚く、「省吾さん」と指名されるほど。処置内容も丁寧で、細かいところまで目が行き届くところ、そしてにかむような笑顔が素敵な、イチオシの看護師です！(小谷 瑞恵さん)

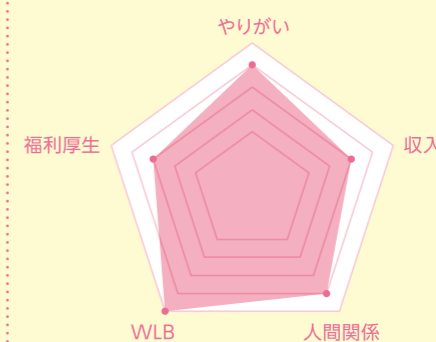
### オフの過ごし方



エレファントカシマシ・サンボマスターなど、いろいろなアーティストのライブに行っています。写真は私のコレクションの一部です。

動物が好きでSNSなどで動画を見て癒されています。今は一人暮らしなので飼えませんが、いつか大きい犬を飼って一緒に散歩したいです。

### 職場満足度 ※個人の主観による採点



### 同僚の声

何事にも積極的に取り組み、いろいろな課題をこなして、意欲的な姿がとても素敵です。明るい性格で患者さんからも同僚からも親しまれています。人の話をよく聞いてあげられる親身さあふれる看護師さんです。



## 現職を選んだきっかけは？

最初は県立病院で看護師として働いていましたが、異動で看護教員になりました。臨床指導者の経験もなく、教員という将来を描いていなかったのが戸惑いましたが、「教員経験は必ず自分の力になる」との上司の勧めで未知の世界に飛び込みました。

## 仕事のやりがい？

人と向き合うという点で、教育と看護は共通しています。教える側ではありますが、学生の看護に対する直向きな姿勢から教わることも多いです。毎日に変化に富んでいるため、何年経っても苦くもあり幸せでもあります。

### Profile

教員歴17年  
草津看護専門学校  
教員  
若島 牧子さん

21歳

滋賀県立総合保健専門学校で看護師資格を取得。卒業後、滋賀県立精神医療センターで勤務。

30歳

数回の異動の後、滋賀県立総合保健専門学校に異動して教員となる。

43歳

草津看護専門学校に転職。



## 現職を選んだきっかけは？

私自身が4児の母として、ママ友や保育園、双子の会などのつながりのおかげで楽しく子育てができた経験を地域にも広げたいと思い、お母さんたちのつながりをつくるコミュニティナーサーとして活動するようになりました。

## 仕事で心がけていることは？

まちの診療所は、人々にとって身近な、困ったときにすぐに頼れる病院です。小児科の患者様は小さな子どもですが、そのご家族も含めてケアするようにしています。一緒になってお子様の成長を見られるのは、小児科ならではの楽しさですね。

### Profile

看護師歴20年  
あかい家のこどもクリニック  
コミュニティナーサー  
浅井 一美さん

21歳

滋賀県済生会看護専門学校で看護師資格を取得。卒業後、済生会滋賀県済生会滋賀県病院・脳神経外科にて勤務。

33歳

子育てを機に一度現場を離れるも、四女が2歳のときに週2のパート勤務を開始。

41歳

小児科医の夫が「あかい家のこどもクリニック」を開業。看護師リーダーを務める。



### ある日のお仕事

08:30 始業

09:00 実習

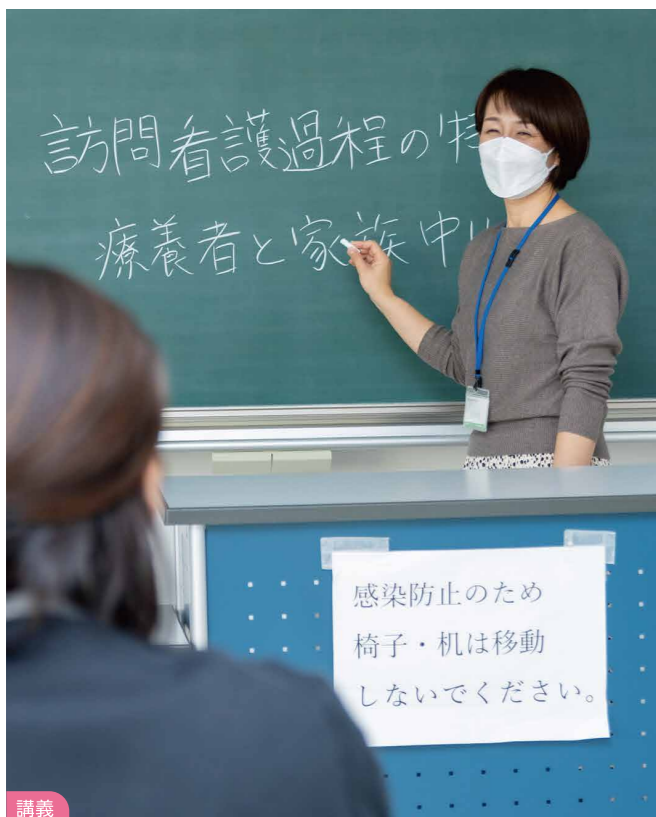
11:00 講義準備

12:15 休憩

13:00 講義

15:30 実習

17:30 終業



講義



実習調整



学生と歓談

### ある日のお仕事

08:45 始業

09:00 午前の診察

12:30 休憩

13:30 予防接種健診

15:00 休憩

16:30 夕方の診察

19:00 終業



予防接種前にあやし中



院内スタッフとのコミュニケーション



電話対応

### オフの過ごし方

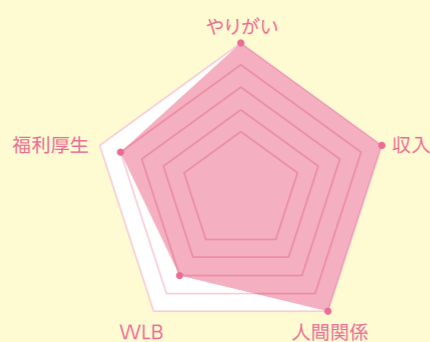


近江八幡にある八幡堀で、子どもと一緒にカヌー体験をしました。なかなか自分の時間を取れない日々ですが、子どもたちの笑顔に癒されています。



コロナ禍でなかなか遠出できませんでしたが、先日家族旅行で芦原温泉へ行きました。

### 職場満足度 ※個人の主観による採点



### 学生の声

明るく話しやすい、学生思いの先生です。優しさはもちろん、ときには厳しく叱ってくださるので、私たちにとって母のような存在です。少しお茶目なところがあるのもチャームポイントです。

### オフの過ごし方

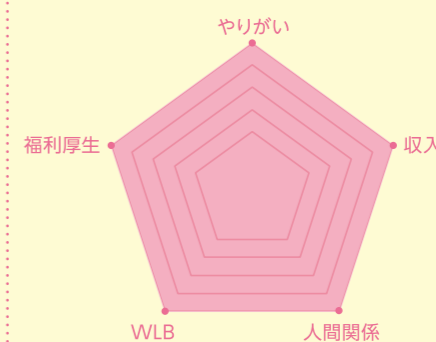


週末はゆっくり夫婦で京都までごはんを食べに行きます。



小学生の娘3人がマーチングバンドをしているので、練習見学や演奏会に参加しています。

### 職場満足度 ※個人の主観による採点



### 後輩の声

いつも笑顔で、お子様とご家族様に寄り添われている優しい看護師さんです。ちょっとした仕草や表情の変化も敏感に感じとり、患者様の不安を和らげています。子育てや離乳食の悩みなど、病気以外の分野にも詳しく、患者様の中にはたくさんのファンがいらっしゃいます。(谷川 萌さん)

# 准看護師の魅力

## 紹介します!

病棟に笑顔を届ける  
現役准看護師に  
直撃インタビュー。  
准看護師という仕事の  
やりがいや魅力を本音で  
語っていただきました。



誰に対しても  
分け隔てない笑顔の  
准看護師

Profile

准看護師歴5年  
豊郷病院  
一般急性期病棟  
杉立 ひとみさん

- 23歳 祖父の死をきっかけに看護職を志すようになる。
- 30歳 豊郷病院附属准看護学院で准看護師資格を取得。豊郷病院にて勤務開始。
- 35歳 一般急性期病棟(呼吸器科、循環器内科)にて勤務中。

ある日のお仕事
08:30 始業 情報収集 カンファレンス
09:00 患者さんへの 清潔援助
11:00 患者さんの 健康観察
12:00 昼食の配膳 食事介助 配薬
12:30 休憩
13:30 患者さんの 健康観察 点滴管理
15:00 IC同席
17:00 終業



車いすで患者さんと院内を散歩

ナースコール対応

デスクワーク

チームカンファレンス

患者さんと歓談

### 誰に対しても明るく元気に、相手の目線に立って

准看護師の仕事は基本的に看護師と同じで、患者さんの清拭、バイタルサイン<sup>※2</sup>測定、点滴実施、採血、体位交換、食事介助などを行います。患者さんによって接し方や対応の工夫が必要なのが、仕事の難しさの一つ。しかし杉立さんは、誰に対しても隔てなく明るく元気に、加えてしっかりと患者さんの目線に立ちながら接するように心掛けています。たとえば同じ認知症でも、人によって適切な対応方法が変わります。変化に乏しい場合も多く、工夫と冒険の毎日です。それを持ち前の明るさと気配りで乗り越えて、患者さんから笑顔で「ありがとう」と言ってもらえたとき、杉立さんの中に確かなやりがいが芽生えます。

※1 インフォームドコンセント。医療行為を受ける前に、医師や看護師から医療行為についてわかりやすく十分な説明を受け、内容について患者・家族が十分納得した上で、その医療行為に同意をすること  
※2 生命に関する最も基本的な情報のことであり、「呼吸」「体温」「血圧」「脈拍」の4項目を基本としている

### 教えて！インタビュー

**Q** 現職を選んだきっかけは？  
**A** 祖父が倒れた23歳のとき、私は救急車を呼ぶことすらできませんでした。「あのときの自分に知識があれば、もっと早く対応できていれば……」という悔しさがずっと残っていて、30歳になる前に看護職を志し、准看護学校へ通い始めました。

**Q** 現在の仕事内容を教えてください  
**A** 一般急性期病棟(主に呼吸器内科、循環器内科)の患者様に対して、診療の補助と看護を提供しています。

**Q** 仕事をすると心掛けていることは？  
**A** いつも笑顔で、大きな声で気持ちよくあいさつをすること、患者さんの気持ちに寄り添う姿勢を大切にしています。自分の体調や疲労に関係なく、常に一定の対応ができるように心掛けています。

**Q** 同職をめざす人にメッセージをお願いします！  
**A** 覚えることが多く、勉強も大変ですが、やってみるべきことは決してありません。私が資格勉強を始めたのは30歳の目前。さらに家庭と両立させながらで、本当に大変でしたが、振り返ると今の自分を支える大切な体験だったと感じます。まずは考え込まずに前向きにがんばってみるのも、きっと悪くないですよ。

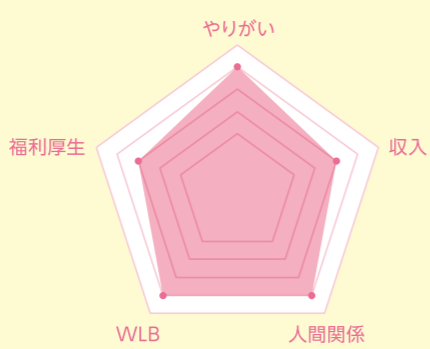
### やってよかった！ 胸熱エピソード

患者さんから「あなたが元気でないよと、入院しているみんなが元気にならないよと、健康のお守りをいただきました。ちょっとウルッときました。

### 上司の声

明るく元気なあいさつと、患者さんと目線を合わせて笑顔で会話する姿が印象的です。優しい気配りで、患者さんから「杉立さんは？」と聞かれるほどに信頼を得ています。また、進学を視野に入れて向上心を持ちながら日々がんばっています。(森田 美恵さん)

### 職場満足度 ※個人の主観による採点



### オフの過ごし方



夏には同僚や子どもと一緒に琵琶湖でSUPを体験。青空の下、白鬚神社の鳥居をバックにパシャリ。  
大阪の爬虫類カフェに2カ月1回のペースで通っています。首に巻いているのはボールパイソン。目がクリクリでカワイイ!

# 看護補助者の魅力

## 紹介します!

看護職の仕事を支える現役看護補助者に直撃インタビュー。看護補助者という仕事のやりがいや魅力を本音で語っていただきました。

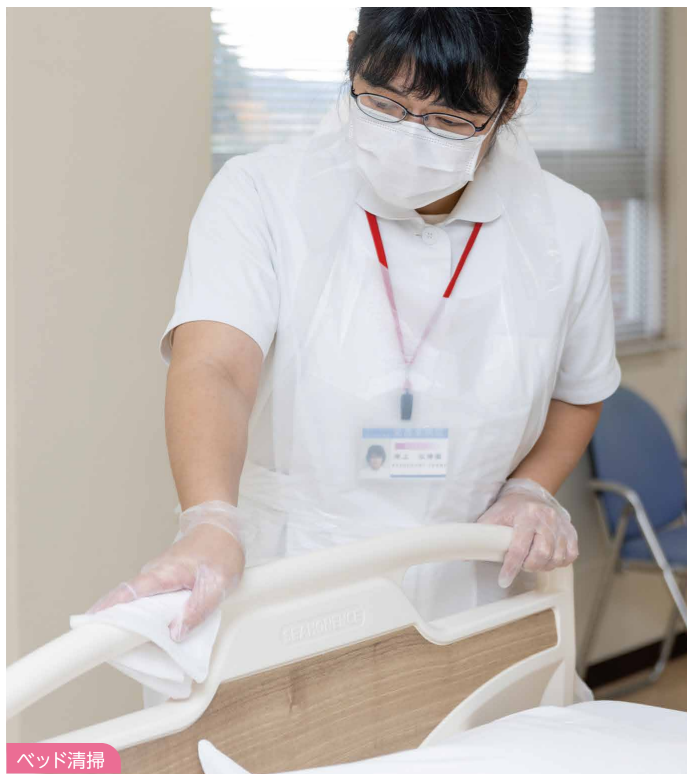


### 病院の仕事を支える看護補助者

**Profile**  
看護補助者歴7年  
独立行政法人国立病院機構 紫香楽病院 看護部  
岸上 以津美さん

- 20歳 看護職とは無関係の、地場産業に関わる職業に就く。
- 33歳 結婚・出産を経験し、子育てが落ち着いたタイミングで、知人から看護補助者募集の話聞く。
- 33歳 紫香楽病院で看護補助者として勤務。

ある日のお仕事
08:30 始業
08:40 朝の申し送り
09:00 環境整備 朝食後の片づけ
10:00 昼の注入食の準備
12:00 30分休憩
14:00 環境整備 昼食後の片づけ 夕方の注入食の準備
15:00 終業



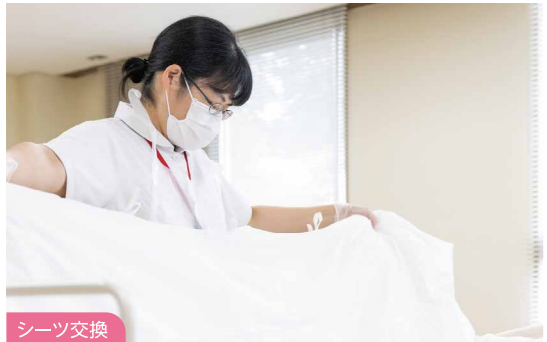
ベッド清掃



ガーブルベース洗浄



看護師からの指示を確認



シーツ交換



食事配膳

### 影から人を支える裏方の仕事、看護の現場に欠かせない仕事

入職以前は自分が看護の現場で働くとは夢にも思っていなかった岸上さん。しかし縁あって飛び込んでみると、看護補助者という仕事は、人が見えていないところでサポートするのが好きな岸上さんには天職でした。看護師資格を持たない看護補助者ゆえ医療行為は行えませんが、患者さんへの食事の介助やおむつ交換、ベッドまわりの環境整備などの仕事を先回りして行います。知らない間に準備が整っていたことに気づき、看護師が驚くことも。「病院全体の仕事を考えて、自分がやったほうが効率が上がると思う仕事に率先して取り組んでいます。医師や看護師の方々がスムーズに仕事できるように動けることにやりがいを感じます」と、岸上さんはやさしくほほ笑みます。

#### ● オフの過ごし方

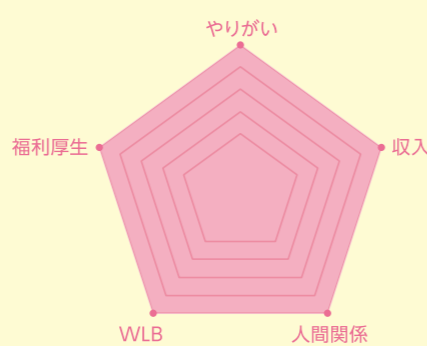


子どもと趣味が同じで、よく一緒にゲームをして遊んでいます。たくさん話したり笑ったりと、何よりも楽しい時間です。



子どもと一緒にアニメを観て盛り上がります。

#### ● 職場満足度 ※個人の主観による採点



#### ≡ 上司の声 ≡

患者さんが安全に入院生活を送ることができるよう、気が付いたことを速やかに看護師に伝えてくれるので、環境調整を速やかにできてとても助かっています。(看護師長・北野 朋子さん)

#### ♪ やってよかった! +胸熱+ エピソード

重症心身障害児者の入院患者さんと長く付き合うなかで、私の顔を見るとニコッと笑ってくださるようになります。「顔を覚えていただけたんだ」とあたたかい気持ちになりました。  
※1 重症の知的な障害と病気やケガなどによる重症の身体的な障害を併発している人です。

- Q** 同職をめざす人にメッセージをお願いします!
- A** 入職前まで看護職とは無縁だったので、最初は人の命に関わる仕事に不安を抱えていました。働くうちに徐々に解消され、逆に看護チームの一員として働けることに大きなやりがいを感じるようになりました。資格や医療現場での勤務経験がなくても働けるので、ぜひ看護補助者の仕事に興味を持ってください。
- Q** 現職を選んだきっかけは?
- A** 子育てを終えて仕事を探しているときに、知人から紫香楽病院で看護補助者を募集していることを教えてもらい、興味を持ちました。紫香楽病院は自宅から近く、家族がお世話になったこともある病院だったので応募しました。
- Q** 現在の仕事内容を教えてください
- A** 注入食の準備、ベッド周囲の環境整備(清掃、おむつなど患者さんの援助に必要な物品の補充)、処置で使用した医療器具の消毒、洗浄、シート交換などを行っています。
- Q** 仕事をするうえで心掛けていることは?
- A** 病院の仕事の中には医師や看護師の手を煩わせるまでもないものもあり、看護補助者としてその仕事を率先して引き受けています。忙しくてもなるべく断らないようにしています。また、患者さんが快適に入院生活を送れるように、素早く丁寧な仕事を心掛けています。

#### 教えて! インタビュー